

龍潭寺（彦根市） 彦根市古沢町 1104

龍潭寺は天平5年(733年)に遠江国(静岡県浜松市)に行基によって開かれたと伝えられている(以前、大河ドラマおんな城主直虎の城)。井伊直政が近江国佐和山城に転封となると、龍潭寺の五世昊天宗建(こうてん そうけん)禅師(南溪和尚の弟子と言われている)を当地に招いて遠江国から分寺して建立したのがこの寺である。臨済宗妙心寺派の寺院で山号は弘徳山で本尊は釈迦如来。「だるま寺」や「庭の寺」とも呼ばれている。



<浜松にある本家の龍潭寺>

以下、彦根の龍潭寺の紹介です



道路に面した入り口



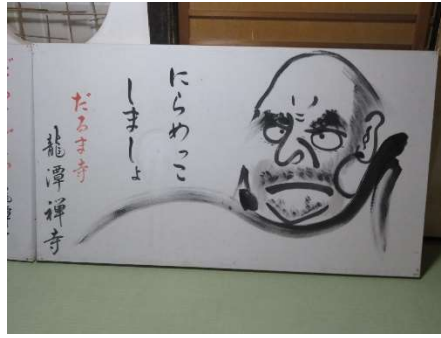
本堂の玄関には彦根城主から拝領した梵鐘があり驚いた



部屋には墨絵でいっぱい



雰囲気のある本堂



ダルマ寺だけあって、大きなダルマをはじめ至る所にダルマがあった



枯山水の庭と流水の庭には暫し時間を忘れて見とれていました



梵鐘の立派



塀は瓦を駆使した強固なものです